

# イクボス首長サミット2016

平成28年11月11日・12日、ここ山形市において東北初となる「ファザーリング全国フォーラムinやまがた」が開催されました。フォーラムでは、延べ2,000人以上が参加し、ワーク・ライフ・バランス、女性の活躍、男性の家事・育児参画、社会全体による子育て支援などの取組みの必要性について学び合いました。

分科会の1つ、イクボスを推進する7名の首長が集まり、地方行政にとって必要なワーク・ライフ・バランスの施策などを議論した「イクボス首長サミット2016」の概要をお伝えします。

## 「イクボス」で意識改革、「ウーマノミクス」で女性活躍

山形県は、平成27年12月にワーク・ライフ・バランスを推進する県内企業が加盟した「やまがた企業イクボス同盟」(143社(平成28年11月現在))を設立し、また、女性の就業率が全国トップクラスであることを強みに、女性の活躍を促進し、経済の活性化を図る「やまがたウーマノミクス」を推進しています。

## 地域活動への職員の参加を応援

子育てや介護など、仕事との調和を図りながら頑張っている職員を応援するだけでなく、自治会やPTA、ボランティアなどの地域活動に積極的に参画する職員を応援しています。地域活動等による多様な経験は、職員のマネジメント能力の向上や新たな人脈の形成など、職務における視野を広げ、より地域に密着した行政サービスに繋がるものと期待しています。

## イクボス宣言をきっかけに 職員のワーク・ライフ・バランスを見直し

南陽市では、職員アンケートで明らかとなった課題①育児に参加する職員が少ないこと②年次有給休暇の取得日数が少ないことに重点的に取り組んでいます。育児に関わる休暇制度の周知やプラスワン休暇のススメを実施したことで、育児参加休暇取得率100%、ゴールデンウィークの6連休以上取得者2.8倍の成果があげられています。

## イクボスは漢方薬

イクメンは意識の面ではだいぶ定着してきていますが、実際に父親たちの声を聞くと、長時間労働の是正など解消されていない問題が多々あり、3年前からイクボスの普及に携わってきました。イクボスは、すぐに効果が表れるものではありません。継続して取り組むことにより、漢方薬のように徐々に効果が表れます。

## コーディネーター



NPO法人  
ファザーリング・ジャパン  
安藤代表理事

## 2 共同宣言

最後に、パネリスト全員で共同宣言を採択し、イクボスとしての決意を新たに誓い合うとともに、イクボスの輪を広げるために全国に向けメッセージを発信しました。

少子高齢化に伴う人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を向上させるためには、男女が共に働き、共に子育てや介護ができる環境が必要です。企業や組織のトップがイクボスとなって先頭に立ち、働き方改革の旗を揚げ、組織の意識改革を進めることが、今後益々重要になるでしょう。

## パネリスト



山形県山形市  
佐藤市長



山形県南陽市  
白岩市長



山形県  
吉村知事



広島県  
湯崎知事



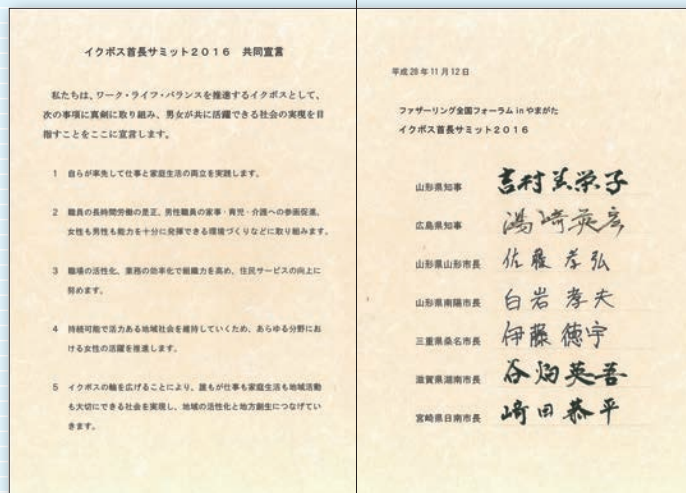
三重県桑名市  
伊藤市長



滋賀県湖南市  
谷畑市長



宮崎県日南市  
嶋田市長



## 1 山形県知事の基調講演及びパネルディスカッション

山形県知事による山形県のイクボス推進などの取組み紹介で幕が上がり、続けて各首長が各自治体の取組みを発表し意見を交わしました。

下記のほかにも先進的な取組みの発表がありました。各自治体に共通することは「ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、長時間労働の解消や各種休暇の取得推進が必要であるが、職員の仕事も年々多様化・増加しているため、創意工夫をして仕事の生産性を高めていくことが重要」ということでした。

### ICT(情報通信技術)を活用してワークスタイルを改革

庁内の取組みとして、ICTを活用した働き方改革を実施。「オフィス」中心から「人」中心の働き方へ転換し、WEB会議やテレワーク(在宅勤務)を導入するなど、場所や時間に捉われない生産性の高い働き方に取り組んでいます。

### 年間3,000時間超の時間外勤務縮減に成功

イクボスの取組みのひとつとして、年々増加傾向にあった時間外勤務の縮減に取り組んでいます。課で対応できない場合は部内で柔軟な応援配置をする「部内相互応援制度」の活用や、毎週水曜日と午後10時以降の時間外勤務の禁止、月1回の私と副市長による見回り退庁指導等、様々な取組みの結果、平成27年度の時間外勤務・前年比3,073時間減を達成しました。

### 各部の取組みを連絡調整会議で進捗管理

各所属長が、配慮が必要な職員(子育て世代の職員や地域活動へ参加している職員など)を把握し、その職員に応じた取組計画書を策定しています。各部での取組みを次長級による連絡調整会議で取りまとめ、時間外の削減や年次有給休暇の取得状況を確認し、必要に応じてヒアリングや計画書の目標値の見直しを行っています。

### 「ゆうパパ」運動で育児参加

母親が特に忙しくなる夕方に、父親が育児に専念する「夕方からパパ行動運動」を推進しています。職員も早く帰宅できるよう仕事の仕方を工夫するなど運動に参加。残業をせず早く帰宅するのは当然という雰囲気や配慮が職場にも管理職にも芽生えてきており、市内企業で働く父親への率先垂範となるよう取り組んでいます。

## イクボス首長サミット2016 共同宣言

私たちは、ワーク・ライフ・バランスを推進するイクボスとして、次の事項に真剣に取り組む、男女が共に活躍できる社会の実現を目指すことをここに宣言します。

- 1 自らが率先して仕事と家庭生活の両立を実践します。
- 2 職員の長時間労働の是正、男性職員の家事・育児・介護への参画促進、女性も男性も能力を十分に発揮できる環境づくりなどに取り組めます。
- 3 職場の活性化、業務の効率化で組織力を高め、住民サービスの向上に努めます。
- 4 持続可能で活力ある地域社会を維持していくため、あらゆる分野における女性の活躍を推進します。
- 5 イクボスの輪を広げるにより、誰もが仕事も家庭生活も地域活動も大切にできる社会を実現し、地域の活性化と地方創生につなげていきます。

## イクボスとは…

部下や従業員の仕事と私生活(ワーク・ライフ・バランス)を理解し、応援しつつ、組織の業績も結果を出し、自らも仕事と私生活を楽しむ上司のこと